

第三次長野市生涯学習推進計画（案）の概要

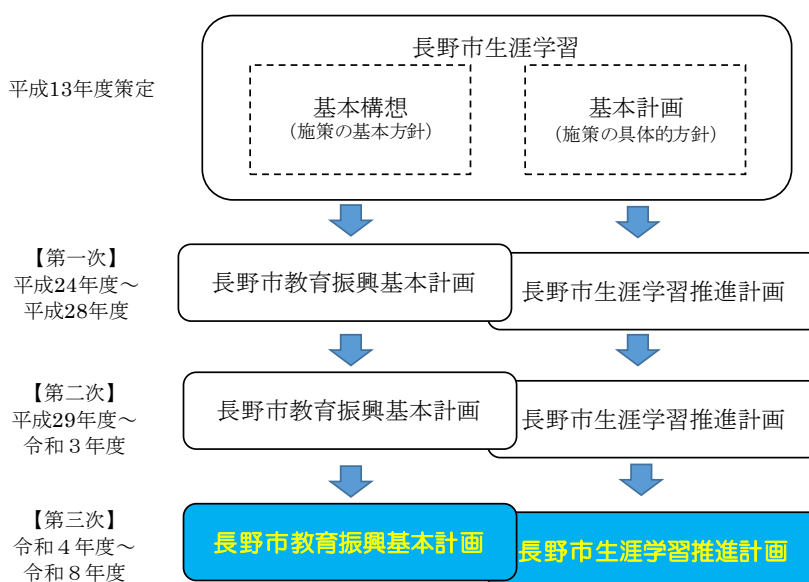
第1編 序論 策定にあたって

1 計画策定の趣旨

本市は、だれもが生涯にわたり自発的に学習することができ、その成果が適切に評価される生涯学習社会の実現を目指し、平成13年度に「長野市生涯学習基本構想・基本計画」を策定しました。その後、少子・高齢化や高度情報化、国際化などの進展、市立公民館における指定管理者制度の導入など、本市の生涯学習を取り巻く環境が多様化し大きく変化してきたことから、「長野市生涯学習基本構想・基本計画」をあらためて見直し、新たな時代における生涯学習振興施策を展開するため、平成24年度に「長野市生涯学習推進計画」、平成29年度に「第二次長野市生涯学習推進計画」を策定しました。

長野市生涯学習推進計画は、長野市教育振興基本計画に基づく生涯学習分野の5カ年の計画です。

この度、第二次長野市生涯学習推進計画策定から計画年の5カ年が経過したことから、これまでの計画の実績、評価に基づき、更なる市民の生涯学習の推進と振興を目指し、次の5カ年に向けた「第三次長野市生涯学習推進計画」を策定したものです。



2 計画の目標年次

本計画は、令和4年度を始期とし、第五次長野市総合計画後期基本計画の目標年次である令和8年度を目標とするものです。

3 計画の位置づけ

「長野市生涯学習推進計画」は、「長野市教育振興基本計画」に基づく生涯学習分野の計画とし、本市の最上位計画である「第五次長野市総合計画」との整合性を図りました。

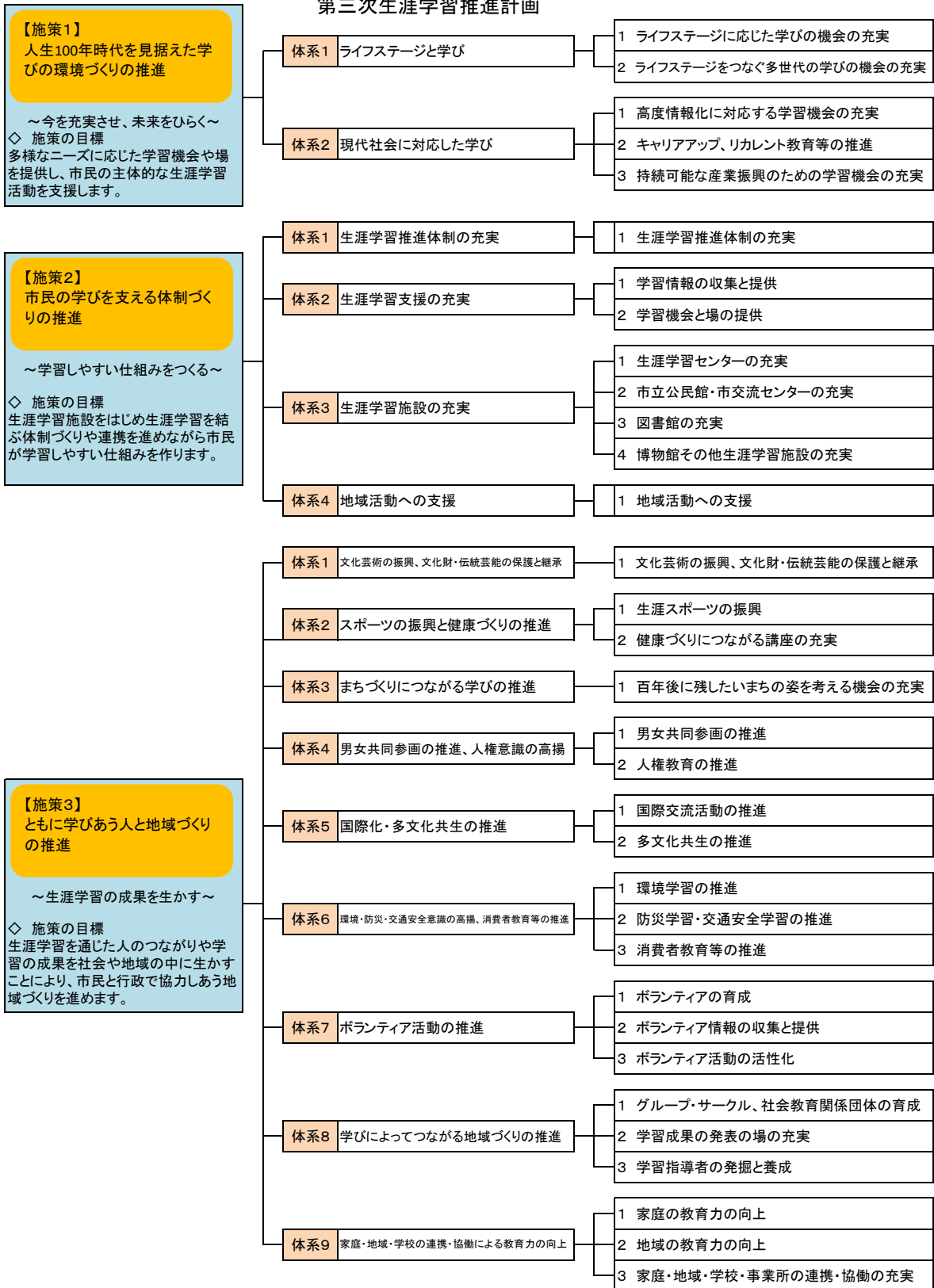
4 計画の推進と評価

本計画の推進に当たっては、多様化する市民ニーズや社会・経済環境の変化に対応し、実効性のあるものとするため、目標となる指標の達成状況について、庁内調査を実施し進捗状況の点検・評価を行います。

この評価をもとに、必要に応じ事業内容及び手法などの改善を図り、計画的・効果的に施策や事業の推進をします。

第2編 計画の推進

施策の体系



第3編 第二次長野市生涯学習推進計画の点検・評価

生涯学習推進計画の推進にあたっては、多様化する市民ニーズや社会・経済環境の変化に対応し、実効性のあるものにするため、進捗状況を把握する必要があります。

そこで、生涯学習推進計画には、主な項目に数値目標を掲げ、目標値に基づく点検・評価を実施することで、進捗状況を把握することとしました。

令和2年度に第二次長野市生涯学習推進計画の中間点検・評価を実施しましたが、その結果は次のとおりです。

この点検・評価の結果を踏まえ、第三次長野市生涯学習推進計画を策定しました。

【第二次長野市生涯学習推進計画 中間評価（令和2年度実施）】

※達成状況：◎…目標達成 ○…未達成であるが目標間近（実績値向上） △…未達成（実績値低下）

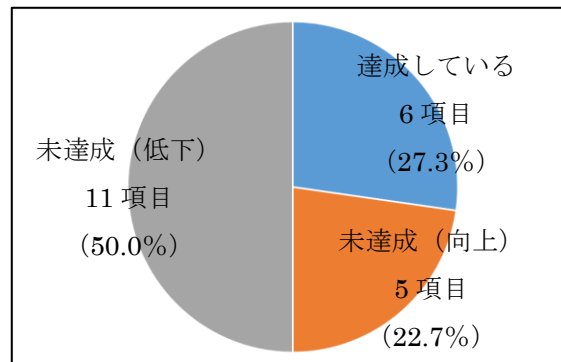
施策	指標項目	令和3年度 目標値	令和元年度 実績値	達成状況
1 市民のニーズに こたえる学習 環境づくり	1 保健センターでの「家庭の学び講座」 受講割合（受講者数／対象者）	88.00%	90.40%	◎
	2 「おひざで絵本」事業での絵本配布率	95.00%	92.40%	○
	3 子どもわくわく体験事業補助金の交付件数	120件	90件	△
	4 勤労青少年ホーム利用者数	90,000人	78,049人	○
	5 高齢者団体の公民館利用回数	3,800回	8,536回	◎※
	6 市立公民館における、ICT利活用講座、犯罪・ セキュリティ対策、SNS利用啓発等講座の開催数	95回	71回	△

※団体登録票の様式変更に伴い、高齢者団体の把握が進んだことにより団体数が増加したものです。

施策	指標項目	令和3年度 目標値	令和元年度 実績値	達成状況
2 市民の学びを 生かす地域 づくり	1 市有ホール施設の利用者数	535,000人	359,572人	○
	2 成人が週1回以上スポーツや運動を実施した割合	65.00%	59.90%	○
	3 住んでいる地域の行事に参加している児童・ 生徒の割合について、全国を100とした指数	小学生131.7	小学生128.1	△
		中学生120.6	中学生120.0	○
	4 人権教育・啓発研修会参加者の満足度	92.00%	83.30%	△
	5 国際交流コーナーの利用者数	9,200人	8,098人	△
	6 環境学習会参加者数	5,200人	6,995人	◎
	7 自主防災組織が実施する防災訓練の実施率	100%	68.90%	△
	8 読みがたり・朗読ボランティア養成講座参加者数	50人	76人	◎
9 市立公民館の講座における地域住民が講師を 務めた講座の割合	38.50%	28.40%	△	

施策	指標項目	令和3年度 目標値	令和元年度 実績値	達成状況
3 市民の学びを支える体制づくり	1 若い世代を中心に構成される団体が市立公民館を利用した割合	11.00%	7.50%	△
	2 公民館活動に関するSNS（ツイッター）による情報発信数	180件	81件	○
	3 生涯学習センターの利用者数	210,000人	189,238人	△
	4 一日あたりの入館者数（長野図書館）	1,250人	1,104人	△
	5 少年科学センター入館者数	110,000人	99,073人	△
	6 「親子学級」を実施する公民館数	29館（全館）	29館	◎
	7 「地域の学び講座」を実施する公民館数	29館（全館）	29館	◎

【指標達成状況】



【指標の達成状況】

指標は、各施策ごとに6～9の指標項目を抽出し、目標値を設定しています。

中間点検・評価の結果では、全22指標のうち、6項目で目標を達成し、16項目は計画策定時の目標値を下回っていますが、その内5項目は、数値が向上しています。

【考察及び課題】

全22項目中、半数の11項目が「達成」「未達成（向上）」で、残りの11項目が「未達成（低下）」となりました。これは、令和元年10月に発生した東日本台風災害と同年度末からの新型コロナウイルス感染症の影響により、年度の後半に講座の開催などが影響を受けたことが要因の一つと考えられます。

現在も、新型コロナウイルス感染症の影響が続いていますが、「未達成（低下）」の項目については、第三次計画の中で、推進に向けた取組の検討をする必要があります。

一方、生涯学習の拠点とも言える市立公民館・市交流センターについては、親子学級、地域の学び講座をはじめとする各種講座の実施率がいずれも目標を達成していることから、講座の充実が図られていると考えられます。

しかし、若い世代を中心に構成される団体が市立公民館を利用した割合は減少傾向にあるため、若い世代の学びのきっかけとなるような講座・研修会の企画や周知を更に進め、施策を着実に推進する必要があります。

第4編 第三次長野市生涯学習推進計画

施策1 人生100年時代を見据えた学びの環境づくりの推進

～今を充実させ、未来をひらく～

- ◇ 施策の目標：多様なニーズに応じた学習機会や場を提供し、市民の主体的な生涯学習活動を支援します。

体系1 ライフステージと学び

項目	現況と課題	具体的な取組（主なもの）
1 ライフステージに応じた学びの機会の充実		
(1) 乳幼児期の学び	生涯にわたる心身の健康維持と人間形成の上で大きな意味を持つのが胎生期から乳幼児期の生活環境ですが、核家族化・少子化、保護者の意識の変化などによって、しつけや基本的な生活習慣などに関する家庭の教育力の低下が指摘されています。	<ul style="list-style-type: none"> ・「妊娠期の健康支援」、「健康教室」、「家庭の学び講座」などの出産・子育てに関する学習機会の提供 ・講座・教室の開催日・時間の設定など、子育て中の保護者の生涯学習へ参加の支援 ・こども広場や地域子育て支援センター及びおひさま広場を実施する幼稚園・保育所・認定こども園での気軽に親子の交流、子育ての情報提供や相談ができる場の提供 ・親子学級講師の地域の人材の活用や、家庭教育力向上啓発事業など、地域ぐるみの取組の支援 ・第三次長野市子ども読書活動推進計画及びおひざで絵本事業の推進
(2) 青少年期の学び	学校教育においては、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの資質・能力を偏りなく育成することが重要です。また、生きる力や命の大切さ、連帯感、思いやりの心などを育て学ぶ様々な体験活動や世代間交流は、子どもたちの健全育成の上で重要です。	<ul style="list-style-type: none"> ・明日を切り拓く力としての「自学自習の資質能力」の伸張を中核に位置付けた第三期しなのきプランの推進 ・子ども会リーダーの養成など、異年齢の交流や体験活動に対する支援 ・放課後子ども総合プランの推進 ・PTAや市立公民館・市交流センターにおける基本的な生活習慣の形成やしつけなどについて保護者が学ぶ家庭教育講座などの学習機会の拡充 ・第三次長野市子ども読書活動推進計画の推進

<p>(3) 成人期の学び</p>	<p>成人は、家庭や地域社会、職場など、あらゆる場面での活躍が期待されます。また、人生の中で長い期間を占めるため、文化・芸術、スポーツ活動など、様々な生涯学習活動を通じて自己を一層成長させることができます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の課題や学習ニーズに応じた講座の企画など、学習機会の充実 ・託児・一時預かり、講座の夜間・土日開催など、働いている人が生涯学習への参加しやすい環境の整備 ・職業能力の向上を図るための職業訓練の支援、就労に役立つ知識の取得につながる幅広い学びの場の提供
<p>(4) 高齢期の学び</p>	<p>高齢者が社会的に孤立することなく社会の重要な一員として、仲間とともに生きがいを持って活躍することが期待されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ながのシニアライフアカデミーなど、高齢者の学習要求に応えるための学習機会の充実 ・かがやきひろば、ふれあい交流ひろば、シニアアクティブルームなど、高齢者の教養や趣味の活動の場の充実 ・老人クラブの支援など、高齢者の知識及び経験を生かした、生きがいと健康づくりの推進
<p>2 ライフステージをつなぐ多世代の学びの機会の充実</p>	<p>人生 100 年時代に向けて、人生をより充実したものにするためには、生涯にわたる学びが重要で、その成果を地域や社会へ役立てることが必要です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもわくわく体験事業補助金の交付など、子どもと大人が一緒になって活動する体験事業の支援 ・子ども会リーダーの養成や市立公民館・市交流センターでの世代間交流事業など、異年齢の交流や体験活動に対する支援 ・長野市生涯学習リーダーバンクなど、高齢者の長年培ってきた豊かな経験や知識の活用・継承の推進

体系2 現代社会に対応した学び

項目	現況と課題	具体的な取組（主なもの）
1 高度情報化に対応する学習機会の充実	ICT機器を使いこなせる者と使いこなせない者のデジタルデバイドが課題となっています。	<ul style="list-style-type: none"> ・長野市行政DX推進計画に基づく各事業の支援 ・パソコン・スマホ講座など、デジタルデバイドの解消のための学習機会の充実 ・インターネットの適正利用や情報モラルについて学びの場の提供 ・生涯学習施設の情報化の推進と、利便性の向上
2 キャリアアップ、リカレント教育等の推進	経済・社会構造の変化など人生100年時代に対応し、多くの人がキャリアアップや現代に必要な技能の向上を図るため、学習情報の提供や学習機会の拡充を図る必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> ・大学や短期大学、専修学校・各種学校の公開講座等の情報の提供 ・職業能力の向上を図るための職業訓練の支援、就労に役立つ知識の取得につながる幅広い学びの場の提供 ・大学や各種学校との連携協定を基にした学習機会の充実
3 持続可能な産業振興のための学習機会の充実	<p>意欲的に農業経営に取り組むことができるように育成・支援することが必要です。</p> <p>商工業等の分野においては、事業を維持・発展させていくために、人材の確保、育成、資質向上などの支援が求められています。</p> <p>Society5.0を迎えるにあたり、ICTに係る人材の必要性が高まっており、育成の取組が求められています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農業研修センターにおける農業の担い手の育成 ・「実践起業塾」など、起業や新規事業創出を目指す人への学びの場の提供 ・SDGsへの取組や環境教育の充実 ・ICTに係る人材育成施策の研究

施策2 市民の学びを支える体制づくりの推進

～学習しやすい仕組みをつくる～

- ◇ 施策の目標：生涯学習施設をはじめ生涯学習を結ぶ体制づくりや連携を進めながら市民が学習しやすい仕組みを作ります。

体系1 生涯学習推進体制の充実

項目	現況と課題	具体的な取組（主なもの）
1 生涯学習推進体制の充実	学習活動は、乳幼児期から高齢期まで及び、様々な分野にわたっています。そこで、施策の推進に当たっては、総合的・体系的に取り組む必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習施設、活動団体、民間事業者との連携講座の開催など、連携の拡充 生涯学習センターでの学習情報提供、最新の社会課題を学ぶ全市的な講座等の開催

体系2 生涯学習支援の充実

項目	現況と課題	具体的な取組（主なもの）
1 学習情報の収集と提供	市内の学習情報の集約を進め、市民が必要とする学習情報を提供していく必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習だより、公民館報・交流センターだより、ちらし・印刷物等による情報提供の充実 生涯学習情報の整理と、ホームページやSNSを活用した学習情報の発信
2 学習機会と場の提供	気軽に参加できる学習や学びのきっかけづくりは、生涯学習センターをはじめ身近にある市立公民館・市交流センターなどで実施し、学習が深まるにつれて大学、高校等の教育機関や他関係機関等と十分な連携をとって行う必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> 大学、専門学校との連携講座、講演会等の各種事業など、他の生涯学習機関及び教育機関等との連携による幅広い要望に対応した学習機会や学びの場の提供 市政出前講座の充実による市政に関する学習機会の提供 各種講座、講師、学習場所、サークルの紹介や図書館のレファレンス・サービスなど、学習相談の対応

体系3 生涯学習施設の充実

項目	現況と課題	具体的な取組（主なもの）
1 生涯学習センターの充実	利用者のニーズに応じ、生涯学習を推進するとともに、中心市街地活性化を担う施設として、利用者の増加に向けた施策を展開する必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> 「トイゴセミナー」など、自主企画講座の充実 「生涯学習だより」の発行など、講座等の情報提供 放送大学長野ランチの、市民への情報提供と高度な内容の学習機会の提供 充実した施設や中心市街地の立地を生かした学習室の貸出しなど、学びの場の提供

2 市立公民館・市交流センターの充実	住民の生涯学習や地域活動の拠点施設として、社会の変化に対応した、より柔軟で魅力的な運営方法について検討していく必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> 施設の更新や長寿命化など、公共施設等総合管理計画に基づいた施設の整備 バリアフリー化など、高齢者・障害者にも配慮した誰にとっても使いやすい施設への改修・整備 大学との連携講座など、学習者の幅広い要望に対応した学習機会の提供
3 図書館の充実	図書館は、様々な人のニーズに応えるために必要な情報を提供する重要な施設であり、利用者の利便性の向上、図書館利用の促進を図っていくことが必要です。	<ul style="list-style-type: none"> レファレンス・サービスなど、学習情報の提供 バリアフリー化など、障害者や高齢者、外国人などが学習活動に参加することができる学習環境の整備 電子図書の導入など、読書に親しむ機会と利用者の利便性の向上につながる施策の検討
4 博物館その他生涯学習施設の充実	博物館やその他生涯学習施設の充実を図る必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> バリアフリー化など、高齢者・障害者にも配慮した誰にとっても使いやすい施設の改修・整備 松代藩文化施設の適切な保存整備と歴史文化遺産を生かした魅力的なまちづくりの推進 青少年錬成センターの利用促進

体系4 地域活動への支援

項目	現況と課題	具体的な取組（主なもの）
1 地域活動への支援	地域公民館の地域活動を活性化するため、行政が支援していく必要があります。また、地域で行われている社会教育活動を支援するため、必要な情報の提供や、教育機関等との連携を図っていく必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> 「支所発地域力向上支援金」や「ながのまちづくり活動支援事業」など、市民の自主的かつ自発的なまちづくり活動への支援 「地域公民館建設等事業補助金」の交付による地域公民館の施設整備への支援 学習相談の対応など、地域で行われている社会教育活動への情報提供

施策3 とともに学びあう人と地域づくりの推進

～生涯学習の成果を生かす～

- ◇ 施策の目標：生涯学習を通じた人のつながりや学習の成果を社会や地域の中に生かすことにより、市民と行政で協力しあう地域づくりを進めます。

体系1 文化芸術の振興、文化財・伝統芸能の保護と継承

項目	現況と課題	具体的な取組（主なもの）
1 文化芸術の振興、文化財・伝統芸能の保護と継承	多くの市民が気軽に発表し鑑賞できる場の提供が求められており、更なる文化芸術事業の進展が期待されています。	・第二次長野市文化芸術振興計画の推進

体系2 スポーツの振興と健康づくりの推進

項目	現況と課題	具体的な取組（主なもの）
1 生涯スポーツの振興	健康寿命の延伸や社会保障費の抑制といった観点から、スポーツや運動による日常的な健康づくりが注目されています。	・第三次長野市スポーツ推進計画の推進
2 健康づくりにつながる講座の充実	あらゆる世代の市民が生涯学習や社会参加を通じて、生きがい・健康づくりに取り組むことができるように、また、スポーツや運動に親しむことにより、健康でいきいきとした生活を送ることができるよう、身近な場所で気軽に参加できる機会の充実を図る必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> ・第三次長野市健康増進・食育推進計画「ながの健やかプラン21」及び長野市自殺対策行動計画の推進 ・健康に関する各種情報の提供と、「フレイル予防講座」など年代に応じた学習機会の充実 ・総合型地域スポーツクラブやスポーツ施設の指定管理者との連携・協働による新規参加者の獲得とスポーツ実施率の向上の推進 ・食品衛生の正しい知識の普及と薬の正しい使い方、薬物の乱用防止、献血意識の高揚を図るための講座や教室の開催など、学習機会の提供

体系3 まちづくりにつながる学びの推進

項目	現況と課題	具体的な取組（主なもの）
1 百年後に残したいまちの姿を考える機会の充実	恵まれた環境・財産を百年後に残していけるよう、まちの姿を考える機会の充実を進め、学びの成果をまちづくりにつなげる取組が必要です。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の様々な魅力を児童生徒に伝えるための、本市の産業や歴史、文化、人物などを学ぶ取組の推進 ・地域課題を住民が主体的に考え、協働して解決していくことを目的とした「地域の学び講座」の実施 ・SDGsへの取組や環境教育の充実 ・長野市まちづくり意見等公募制度（パブリックコメント）の実施

体系4 男女共同参画の推進、人権意識の高揚

項目	現況と課題	具体的な取組（主なもの）
1 男女共同参画の推進	社会制度や慣習、無意識の思い込みを解消し、男女がお互いの人権を尊重し、女性も男性も対等な社会の構成員として社会の各分野における活動の機会が確保され、様々な利益を享受し責任も共に担う男女共同参画社会の実現が求められています。	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センターでの講座の開催など、男女共同参画の視点を取り入れた学習機会の提供 男女共同参画意識を育て、人権感覚を磨き、深く豊かな人間性を育む学校教育の推進
2 人権教育の推進	差別のない明るい長野市を築くため、市民一人一人が、人権感覚を高め、差別の解消に向けて積極的にこの問題に取り組み、豊かな人間性を備えた人間として成長することが大切です。	<ul style="list-style-type: none"> 「人権を尊重し合う市民のつどい」の開催や「人権教育講座」の実施など、人権教育・人権学習の推進 障害に対する理解を深めるための福祉教育、啓発活動の充実、「心のバリアフリー」など、障害のある人とない人が共に暮らす社会に向けた学びの推進 セクシャルマイノリティ（性的少数者）などに対する偏見をなくすための啓発活動の実施

体系5 国際化・多文化共生の推進

項目	現況と課題	具体的な取組（主なもの）
1 国際交流活動の推進	冬季オリンピック・パラリンピックの開催以来、本市の国際化は大きく進展し、一校一国運動など大きな成果を上げました。これらの成果を更に発展させるためには、今後も国際的視野を深める学習機会の充実が必要です。	<ul style="list-style-type: none"> 交換学生や視察団等の受け入れ、派遣など、姉妹都市・友好都市との交流 ホームステイなどによる学生などの受け入れなど、市民による国際交流の促進 国際交流コーナーの運営や異文化理解講座の開催など、コミュニケーション能力の向上と多文化についての知識を得る機会の充実
2 多文化共生の推進	多文化共生への理解を深めるためには、市民自ら日本の文化や歴史、自分の住むまちの文化について理解を深めるとともに、異なる文化を尊重する姿勢を育てることが必要です。	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育における語学力の向上や国際的視野を深める教育の推進と、ALT（外国語指導助手）派遣の充実など、国際的視野を身に付けた児童生徒の育成 異文化理解講座や交流会などの開催など、異なる文化への理解を深める学びの場の充実

体系6 環境・防災・交通安全意識の高揚、消費者教育等の推進

項目	現況と課題	具体的な取組（主なもの）
1 環境学習の推進	<p>市民一人一人が環境問題について更に理解を深めるとともに、家庭、学校、職場、地域社会などそれぞれの立場で、環境保全活動に身近なところから取り組むことが必要です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「長野市環境こどもサミット」の開催、環境学習会やリサイクル体験型講座の実施など、環境の保全に関する学習機会の充実 ・リサイクル体験型講座など、食品ロス削減を含むごみ減量やリサイクルを推進していくための学習や意識啓発の機会の充実 ・SDGsへの取組や環境教育の充実
2 防災学習・交通安全学習の推進	<p>防災に関する知識の普及と意識の高揚を図り、市民と行政が一体となった災害予防体制と減災対策を確立していく必要があります。また、市内では、未だ多くの交通事故が発生しています。交通安全意識を一人一人が持つことで、交通事故を防ぐことができます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災に関する市政出前講座の活用による防災学習、広報活動や防災訓練等を通じた啓発活動の推進 ・火災の未然防止のための予防運動の推進 ・応急手当に関する各種講習の実施 ・学校、自治会等が開催する交通安全教室への交通安全教育講師の派遣
3 消費者教育等の推進	<p>消費生活における商品やサービスの販売形態が複雑化、多様化する中で、若年層から高齢者まで幅広い年代で消費者トラブルが発生しており、賢い消費者となるための学習機会が求められています。</p> <p>食品や製品への安全性に関する意識の高まりや、将来の暮らしに大切な生活設計、健康法などの学習機会を充実していくことが必要です。</p> <p>本市ではSDGsの取組を推進しており、持続可能な社会に向けた、人や社会、環境に配慮した消費行動を啓発していく必要があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者被害の未然防止と拡大防止を目的とした出前講座や生活知識講座など、消費生活に関する学びの場の提供と普及啓発の実施 ・成年年齢引下げにともなう消費関連情報の提供・発信 ・食品衛生講習会の開催など、食品衛生について正しい知識の普及を図るための学習機会の提供 ・出前講座などによる「エシカル消費」の普及啓発

体系7 ボランティア活動の推進

項目	現況と課題	具体的な取組（主なもの）
1 ボランティアの育成	多くの方がボランティアとして活躍できるような人材を養成していく必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> ・「サマーチャレンジボランティア」やボランティア養成講座、研修事業の開催など、ボランティアとしての心構えや実際の活動などについて学ぶ機会の提供
2 ボランティア情報の収集と提供	ボランティア活動をしたいと思ったときに、まず必要になるのは情報です。どこで、どのような活動ができるのか、活動拠点はどこか、といった情報が迅速に入手できるような仕組みづくりが必要です。	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア登録など、多様なボランティアに関する情報の収集、共有ができる仕組みづくりの推進 ・「ボランティアかわらばん」の発行や、ICT等を活用したボランティア活動情報の提供の充実 ・チラシ・リーフレットの配置等、生涯学習センター、市立公民館・市交流センターにおけるボランティア情報の提供
3 ボランティア活動の活性化	少子化や超高齢社会の到来、市民要望の多様化に伴い、ボランティアの役割は年々重要になってきていることから、今後もボランティア活動に対して、様々な面から支援をしていく必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域づくり・ボランティア講座」など、ボランティアコーディネーターの育成やコーディネート機能の強化

体系8 学びによってつながる地域づくりの推進

項目	現況と課題	具体的な取組（主なもの）
1 グループ・サークル、社会教育関係団体の育成	自主的なグループ・サークルが育ちやすい環境を整備し、活発な活動が展開されるよう支援していくことが大切です。	<ul style="list-style-type: none"> ・他のグループ・サークルとの交流・発表の機会の拡充やICTを活用した市民への情報提供によるグループ・サークルなど社会教育関係団体の活性化の推進 ・グループ・サークル等の組織化や運営方法についての相談・助言と、活動の場の提供
2 学習成果の発表の場の充実	市立公民館・市交流センターや長野市芸術館、松代文化ホール、若里市民文化ホール、東部文化ホールなどの施設の有効活用を図り、発表の場を充実させる必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> ・作品展、文化祭など、発表の機会の充実 ・各種団体が行う展示会・発表会・演奏会等への後援による活動支援

3 学習指導者の 発掘と養成	生涯学習の推進には、様々な学習活動を指導し、助言する人の役割が重要であり、各分野の指導者の発掘や養成の機会を拡充していく必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者の発掘、養成、活躍の場の確保による「長野市生涯学習リーダーバンク」の充実と、市民への指導者情報の提供 ・市立公民館・市交流センター主催講座における地元講師の活用
---------------------------	--	---

体系9 家庭・地域・学校の連携・協働による教育力の向上

項目	現況と課題	具体的な取組（主なもの）
1 家庭の教育力の 向上	家庭の教育環境の変化に応じた取組が求められています。また、育児に不安を抱えるなど孤立化する家庭の現状を踏まえ、親子が共に学び成長するための取組が必要とされています。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校PTAや市立公民館・市交流センターにおいて、基本的な生活習慣の形成やしつけなどについて保護者が学ぶ家庭教育講座などの学習機会の拡充 ・親子学級など、子育て中の親がともに学び合える場の提供 ・子ども広場や地域子育て支援センター及びおひさま広場を実施する幼稚園・保育所・認定こども園での気軽に親子の交流、子育ての情報提供や相談ができる場の提供 ・第三次長野市子ども読書活動推進計画の推進、おひざで絵本事業の推進
2 地域の教育力の 向上	少子化や核家族化、都市化、情報化等の社会の変化や、人間関係や地域における地縁的なつながりの希薄化等により、家庭の教育力とともに地域社会における教育力についても向上が求められています。	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもわくわく体験事業補助金の交付など、地域の子どもと大人が一緒になって活動する体験事業の支援 ・子ども会活動など、地域が行う子どもの育成事業に対する支援 ・親子学級や家庭教育力向上啓発事業など、地域の子育て経験者が子育て中の保護者に対してアドバイスや支援を行うなどの地域ぐるみの取組の支援
3 家庭・地域・ 学校・事業所の 連携・協働の 充実	家庭と地域の教育環境が変化する中、家庭と地域、地域と学校とが、互いにつながりを深め、支え合うことが求められています。	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティスクールの機能の充実 ・PTA主催の家庭教育講座に対する補助金の交付など、家庭・地域・学校が連携し、青少年の学習活動及び情報モラル教育を推進していく体制の整備 ・青少年健全育成情報交換会の内容の充実 ・市職員の講師としての派遣など、事業所が取り組む家庭の学びへの支援

主な取組の目標値

施策		指標項目	R元年度実績値	R8年度目標値
1	人生100年時代を見据えた学びの環境づくりの推進	1 保健センターでの「家庭の学び講座」受講割合(受講者数/対象者)	90.4%	88.0%
		2 「おひざで絵本」事業での絵本配布率	92.4%	95.0%
		3 子どもわくわく体験事業補助金の交付件数	90件	120件
		4 サンライフ長野(中高年齢労働者福祉センター)利用者数	72,050人	80,000人
		5 高齢者団体の公民館利用回数	8,536回	8,600回
		6 市立公民館・市交流センターにおける情報通信機器の利用に係る講座の開催数	71回	95回
2	市民の学びを支える体制づくりの推進	1 若い世代を中心に構成される団体が市立公民館を利用した割合	7.5%	11.0%
		2 公民館活動に関するSNS(ツイッター)による情報発信数	81	180
		3 生涯学習センターの利用者数	189,238人	210,000人
		4 一日あたりの入館者数(長野図書館)	1,104人	1,250人
		5 「親子学級」を実施する公民館数	29館	29館
		6 「地域の学び講座」を実施する公民館数	29館	29館
3	ともに学びあう人と地域づくりの推進	1 市有ホール施設の利用者数	359,572人	458,000人
		2 成人が週1回以上スポーツや運動を実施した割合	59.9%	65.0%
		3 「フレイル予防講座」を実施する公民館数	29館	29館
		4 住んでいる地域の行事に参加している児童・生徒の割合について、全国を100とした指数	小学校 128.1 中学校 120.0	小学校 131.0 中学校 117.3
		5 人権教育・啓発研修会参加者の満足度	83.3%	92.0%
		6 国際交流コーナーの利用者数	8,098人	9,200人
		7 環境学習会参加者数	6,995人	5,500人
		8 自主防災組織が実施する防災訓練の実施率	68.9%	100%
		9 読みがたり・朗読ボランティア養成講座参加者数	76人	80人
		10 市立公民館の講座における地域住民が講師を務めた講座の割合	28.4%	38.5%